

オテサーネク 妄想の子供 (2000)

OTESANEK

メディア 映画

ジャンル ドラマ ファンタジー

製作国 チェコ/イギリス

時間 132分

初公開日 2001/11/03

公開情報 チェキスー・ケー＝レンコーポレーション

映倫 PG-12

【解説】

「アリス」「ファウスト」「悦楽共犯者」と、独自の映像世界を造形してきたシュヴァンクマイエル監督がアニメと実写を組み合わせ、チェコの民話を映画化した異色のダーク・ファンタジー。子供のいない夫婦が木の切株を子供として育てるといろいろなものを食べ尽くし、やがては両親までをも呑み込んでしまう、という民話を基にしている。

子どものいない妻を慰めようと、夫ホラークは木の切株を赤ちゃんの形に削ってプレゼントする。夫人はその切株に本物の子どものように接し、かいがいしく世話をする。しかし、隣に住む少女アルジュビェトカだけは、夫婦のこの奇妙な行動に、チェコに古くから伝わる民話“オテサーネク”との符号を感じていた。それは、子どものいない夫婦が切株を育て、最後にはその切株に食べられてしまうというもの。やがて、ホラーク夫人の切株も民話と同じように生をうけ、周りのものをどんどんと食べ尽くしていく……。

【クレジット】

監督	ヤン・シュヴァンクマイエル	Jan Svankmajer	
原案	ヤン・シュヴァンクマイエル	Jan Svankmajer	
脚本	ヤン・シュヴァンクマイエル	Jan Svankmajer	
撮影	ユライ・ガルヴァーネク	Juraj Galvanek	
出演	ヴェロニカ・ジルコヴァ	Veronika Zilkova	ホラーク夫人
	ヤン・ハルトウル	Jan Hartl	ホラーク
	ヤロスラヴァ・クレチュメロヴァ	Jaroslava Kretschmerova	シュタードレル夫人
	パヴェル・ノーヴィ	Pavel Novy	シュタードレル
	クリスティーナ・アダムコヴァ	Kristina Adamcova	アルジュビェトカ
	ダグマル・ストリブルナ	Dagmar Stribrna	警官